

企業で取り組む環境経営
エコアクション
21 vol.28

西日本豪雨を乗り越え
BCPによる強い組織と
竹循環型社会を目指す



お話を聞きしたのは

株式会社 テオリ

代表取締役

なかやま かずゆき

中山 和幸さん

▶環境配慮型製品の販売生産量

《竹を使った製品の販売数値》



竹を何層にも貼り合わせた集成材は、強度が高く耐久性があります。同社では竹の家具を長く使ってもらえるよう、ユーザー向けに塗料の塗り直しなどのメンテナンスのレクチャーも行っています。



竹材の間伐、製品の生産、里山の整備、竹林の肥育・管理を循環させる「竹循環型社会」のイメージ

「エコアクション21(以下EA21)に取り組んだきっかけを教えてください。」

地元真備を中心に国産の竹で集材を作り、家具や雑貨などを生産しています。2017年以前は海外からの輸入竹材が中心でしたが、地産地消によるブランド化を決意し、岡山県内や近隣地域の竹を使う方向に転換しました。新工場を建て業態をシフトするにあたり、近年注目されている放置竹林の問題に何か貢献できないかと考えるようになりました。竹林の管理は手間がかかり、廃棄される竹の活用は、真備の特産であるタケノコの竹林整備や、里山の保全につながります。企業として地域の資源活用環境対策についてより深く関わっていくべきではないかと模索している中で、EA21を知りました。

「集成材の加工や家具の製作の際、どのような環境配慮を心がけていますか？」

当社が目指すのは竹循環型社会です。家具や雑貨といった製品にならない部分や副産物もなるべく廃棄しないよう、多様な商品に作り替えます。竹の枝葉は粉碎・加工し土壌改良剤に、集成材に向かない細い部分などは表皮の成分を抽出し自然由来の塗料や入浴剤にしています。集成材の加工で出るおがくずは肥料とし

て竹林へ還します。山林からの資源の採取、暮らしの豊かさを支える製品の生産、資源の保護・管理を循環させることで、持続可能な企業経営と地域貢献を実現したいと考えています。竹林の整備で間伐した竹は焼却処分か放置して土に還すケースが多いのが現状です。処分に困っている方は多く、最近では県外の生産者さんからの問い合わせが増えています。当社の活動が竹林に携わる仕事を未来に残す一助になればと考えています。

「廃棄物削減を積極的に行っていますが、社員の意識向上に有効だったことを教えてください。」

当社の事業活動では廃棄物がほとんど出ません。当社の社員は廃棄物の削減・再資源化への意識が高く、新しいリサイクル商品の開発への意欲も高いです。このベースにはEA21に基づいた思考があると考えています。EA21に取り組むことで、電力消費や廃棄物などの量が数値として可視化されました。データをもとに数値を比較し、変動の原因を業務の中で探る習慣が社員に定着しました。業務を見直し、ロスが出る工程を見つけ、改善し、再資源化のアイデアを出すサイクルに直結していると考えられます。問題解決思考が定着するのがEA21の魅力

だと感じています。小さなことですが、使っていない機械や照明のオフなども意識づけられているのもその現れだと確信しています。

「今後の展望を教えてください。」

2018年の西日本豪雨では浸水の被害に遭い、2億円近い損害が出ました。その後BCPを策定し、社員の安全確認や雇用の継続、取引先との連携など、より強い組織づくりを進めています。これからは竹循環型社会の推進とともにSDGsに力を入れ、EA21の審査員から助言をもらいながら環境保全と地域社会に貢献していきたいです。

株式会社テオリ

所在地 〒710-1302 倉敷市真備町服部1807番地

従業員数 25名 認証・登録日 2018年3月9日

真備町を中心に岡山県内・近隣地域の竹で集成材を作り、家具やインテリア雑貨を製作。端材等から入浴剤、塗料などの再資源化製品も開発している。

【エコアクション21】環境省が策定したガイドラインに基づいて環境経営のためのしくみを構築・運用している事業者を認証し登録する制度です。



【エコアクション21 地域事務局岡山県環境保全事業団】

〒701-0212 岡山市南区内尾665-1 Tel 086-298-2122 Fax 086-298-2496

Mail ea21@kankyo.or.jp http://www.kankyo.or.jp

Facebook https://www.facebook.com/ecoaction21/